

新宿御苑「環境の杜」構想

現況

21世紀の新宿御苑のあり方

環境教育の場としての機能
〔環境学習システムの構築〕
〔環境情報の発信〕

生物多様性保全の場としての機能
〔希少植物種の保存〕
〔生物生息空間の維持・創出〕

保護増殖センター
機能の付加

歴史・文化遺産の評価と継承
植物遺産

「環境の杜」自然塾

実践フィールドの整備
講座の充実

環境教育教材
プログラムの製作

人材の育成
インタープリター・ボランティア



- ・歴史・文化遺産の適切な継承が図られているか？
歴史遺産の評価が不十分である
- ・都市の緑地としての機能を果たしているか？
新たな社会的需要に応えきれていない
- ・御苑のポテンシャルが、環境行政上活用されていない

緑地の利用機能
(憩いの場としての機能の確保)

緑地の存在機能
(環境緩和機能、広域避難場所としての役割)

新・生物多様性国家戦略(平成14年3月27日関係閣僚会議決定)のなかに、希少植物種の保全と環境教育の項目において、新宿御苑で行う具体的施策が明記されている。